

リモコン

工事説明書

特に注意していただきたいこと

●ここに示した「△注意」には次の意味があります。



この表示を無視して作業を誤った場合に、作業員またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



一般的な禁止

△注意

工事をされるかたへのお願い

- リモコンを正しく、安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 作業時は手袋などの保護具を着用してください。

- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事はできますが、「電気設備に関する技術基準」に従って工事を行ってください。
- 電源プラグがついている機器は抜いた状態で、電源プラグがついていない機器はブレーカを「切」にした状態でリモコンコードを接続してください。
- 取付工事終了後、本書は必ずお客様にお渡しください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品の確認

●梱包されている付属品に不足がないことを確認してください。

 イラストは代表機種です	 タッピンねじ (L35、2本)	 オールプラグ (2個)	 コードクリップ
リモコン			
 リモコンにより付属していない場合があります。	 リモコンにより付属していない場合があります。	 特定保守製品のみ	
取扱説明書	工事説明書	注意書	

別売部品

- リモコンコード

リモコンの取付け

(裏面へ続く)

リモコンの取付け上の注意

- このリモコンは防水タイプではありませんので、浴室など湿気の多い場所には取付けしないでください。
- 周囲の壁や他のリモコンなどに密着せず1cm以上離し、リモコンのふたを全開にしたとき、障害物にあたらぬ位置に取付けてください。
- ガステーブルやこんろなどの燃焼器具の上部には絶対に取付けしないでください。電気部品の故障や外装変形の原因になります。
- 炊飯器や電気ポットなどの蒸気や水滴、じゃこからの水しぶきがかかる場所には取付けしないでください。
- 直射日光のあたる場所には取付けしないでください。
- 幼児の手が届くところには取付けしないでください。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取付けしないでください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20mを超える場合は動作保証できません。
- リモコンコードは熱の影響を直接受けないうちに配線してください。
- リモコンコードをコンクリートや壁などに埋込むときは、必ず電線管などを使用してコードを傷つけないようにしてください。
- リモコンコードを途中で分岐したり、リモコンからリモコンへ渡り配線しないでください。
- リモコンの表面パネルには保護フィルムが貼ってあります。工事完了後は必ずがしててください。

リモコンの取付け

埋込み配線の場合

●事前に壁内部に電線管を通して、スイッチボックスを設置してください。

1. リモコン固定板を下にスライドさせ、リモコンからはずします。

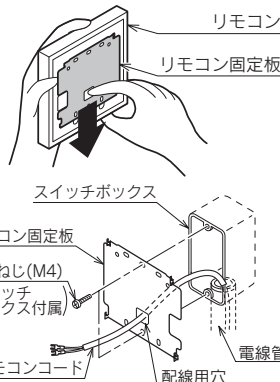
2. リモコン固定板を壁に固定します。

- (1) リモコンコードを電線管を通して、リモコン固定板の配線用穴から引き出してください。
- (2) リモコン固定板をスイッチボックスの取付ねじ穴に合わせ、スイッチボックス付属の取付ねじ(M4)で固定してください。

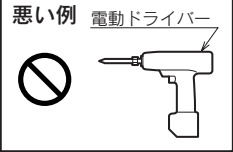
・ねじを強く締めすぎるとリモコン固定板が変形するおそれがありますので注意してください。

3. リモコンにリモコンコードを接続します。

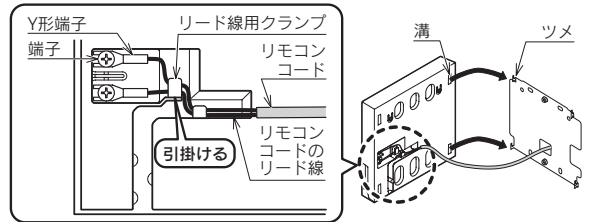
- 市販のコードを使用する場合は「市販のコードを使用する場合」を参照してください。



- ・端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- ・電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがありますので絶対に使用しないでください。
- ・リモコンコードは無極性ですので、+はありません。



- (1) リモコン固定板から引き出したリモコンコードのY形端子をリモコンの端子にしっかりと接続します。
- (2) リード線用クランプにリモコンコードのリード線を引掛けます。余ったリモコンコードは壁穴に入れます。



4. リモコンを取付けます。

リモコンの背面の溝4箇所をリモコン固定板のツメに合わせて、上から下へスライドさせて固定します。

5. リモコン取付け後、固定状態を確認します。

リモコン固定板が動く場合は取付ねじを増し締めしてください。

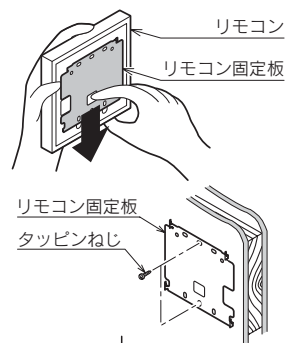
露出配線の場合

1. リモコン固定板を下にスライドさせ、リモコンからはずします。

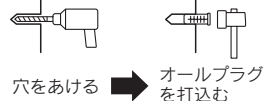
2. リモコン固定板を壁に固定します。壁の丈夫な場所(柱など)にリモコン固定板を付属のタッピンねじ(L35、2本)で直接固定してください。

・ねじを強く締めすぎるとねじ穴の破損やリモコン固定板が変形するおそれがありますので注意してください。

※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁にリモコン固定板をねじ止めする場合は、付属のオールプラグを使用してください。



下穴径	穴深さ
6mm	30mm

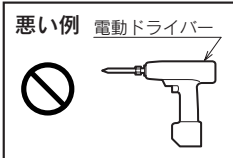


リモコンの取付け

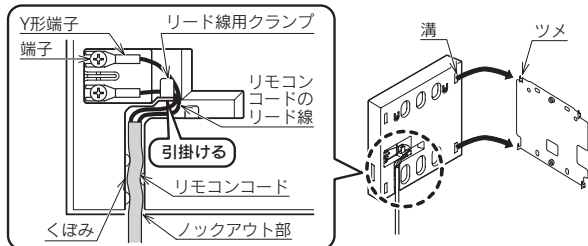
(表面より続く)

3. リモコンにリモコンコードを接続します。

- 市販のコードを使用する場合は「市販のコードを使用する場合」を参照してください。
- ・端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- ・電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがありますので絶対に使用しないでください。
- ・リモコンコードは無極性ですので、+-はありません。



- (1) リモコン下部のノックアウト部を切り取ります。
- (2) 図のようにY形端子をリモコンの端子にしっかりと接続します。
- (3) リモコンコードのリード線はリード線用クランプに引掛けて、リモコンコードをくぼみに収めます。



4. リモコンを取付けます。

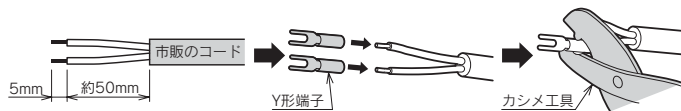
リモコンの背面の溝4箇所にもリモコン固定板のツメを合わせて、上から下へスライドさせて固定します。

5. リモコン取付け後、固定状態を確認します。

リモコン固定板が動く場合はタッピンねじを増し締めしてください。

市販のコードを使用する場合

- 市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。
- 1. 図を参考に市販のコードを皮むきし、リード線の被覆を約5mm切取ります。
- 2. 市販のコードの先端にY形端子を差し込んでカシメ接続します。



機器との接続

- 機器との接続は機器付属の「工事説明書」を参照してください。